

正観

2018. 2. 14 発行

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)

会長 遠藤 勝雄

幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

例年になく大寒波、大雪の中で本年度最後の例会が山形県米沢市で行われました。講師の先生方初め参加者の皆さまには悪天候にも係わらずお集まりいただきまして誠に有難うございました。遠藤勝雄先生は「久しぶりに大雪を見ることができた」と感激？されておりました。

初日の審査研修会、稽古会では遠藤勝雄先生、曾根孝悦先生、そして曾根先生がお誘いくださいました中原正史先生（山形県警・教士八段）にもご指導をしていただきました。2日目には参加者の「攻め方と間合いが分からない」という素朴な質問に答えて遠藤先生から「剣道の打突構造」というすばらしい講話をしていただきました。

会報名「正観」下の一節でもある剣道における「恒常不変の本体的、理念的なもの」をわかりやすく解説していただき、「正しく心に写して」みる方法を教わりました。その後佐藤孝康先生も加わり、実際に「対処する」ための実証稽古が行われましたが、見事に事理一致したご指導は身にしみる内容でした。それに答えて参加者の稽古振りは雪をも融かす熱気に満ち溢れておりました。

来年度も会員の要望を取り入れながら各種事業を計画してまいりますので是非ご参加の上、斯道向上を目指していただければ幸いです。

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ
東北地区クラブ幹事長 三條貞夫



1 山形県米沢市例会の報告

1月27日(土)、28日(日)の両日、山形県米沢市の三條かの記念館及び小野川温泉やながわ屋旅館において新年初めての東北地区クラブ例会を開催いたしました。大雪にも関わらず高い志を抱いた24名の会員の方にご参加いただきました。厳しい寒さの中、暖かく素晴らしい会場をご高配いただきました三條貞夫先生に心より感謝申し上げます。



初日の審査研修では遠藤勝雄会長に6、7段受審者および8段受審者一人一人に対して丁寧に課題のご指導、悪癖のご指摘をいただきました。

6、7段受審者には「勢いが無い。攻めがなく打つ機会が不適切である。自分勝手に打って行っている。相手を動かして打突することが重要。」、8段受審者には「『位取り』ということ。無駄打ちをなくし、打ち切って気位を示すこと。初太刀が重要。相手に打ちを出させない、打たれないで出させるという高度な攻めにより、反応した相手の動作を読み取り自分の策に引き込む心持ちが必要。」とのご指導がありました。「どんな相手に対しても自分のベストを出せるように研究して成果を出してほしい。」賜ったご指導をこれからの稽古に活かして課題を克服されますよう祈念するばかりです。

その後遠藤先生、中原正史先生に元に立っていただいた指導稽古とお互いの自由稽古は熱気が会場いっぱいに満ちた例会となりました。曾根先生は肘の故障の為、稽古は致しませんでした。会員の稽古ぶりを見渡し都度適切なアドバイスを頂きました。

最後の講評では曾根先生から「相互稽古の時の気迫が足りない、お互いにもっと気迫を込めて厳しく激しい稽古をすることで切磋琢磨してください。」とさらなる向上のためのご指導をいただきました。



稽古の後は雪深い小野川温泉でゆったりと湯に浸かり疲れを癒しての和やかで楽しい宴です。

◆遠藤勝雄先生の「生涯スポーツ功労者表彰」の祝賀がありました。

先生ご自身は表彰ということを考えてこともなく無欲で続けてこられたとの事ですが、これまで献身的に支えてこられた奥様への感謝と共に、「これからも剣道を通して誰かの役に立てるように邁進していきます」とご受賞の感想を話してくださいました。改めて心からお祝い申し上げます。

◆昨秋の東京審査で七段にご昇段された佐藤幸一郎先生のお祝いがありました。

「昨年郡山例会でご指導頂いた内容をずっと意識して稽古を続けてきた成果だと思う。」と真摯な気持ちで本気の取り組みを継続することの大切さを話してくださいました。これからの益々のご精進とご活躍を祈念いたします。



◆新入会員の菅野由里子先生と渡邊一仁先生のご紹介がありました。

菅野先生は石巻で東日本大震災に被災された困難の中も剣友の方々に支えられてきたことを話されて、この度の剣縁も大切にしたいと挨拶されました。また、渡邊一仁先生は今回お試しのつもりで参加したが今まで経験したことのない指導の内容なので是非入会したいとの挨拶がありました。



2 米沢例会 二日目 「攻めと間合いの講習」

会員の「攻めと間合い」についての質問に対してご講義と実習をいただきました。

まず剣道の打突の構造として「構え」→「攻め」→「打突」→「残心・暫心」の基礎知識をご講話頂き、その理解を基に攻め方と間合いについて実技講習となりました。

□構えについて、構えは自然体の適正な姿勢を運んでいないと攻めが生きてこない。相手より高い気構えと身構えを示すことが構えによる攻め。逆に攻め（例；間合いを詰める）により相手の構えを崩していく。崩れた所は打突の好機である。

□間合いは相手との物理的な距離で①遠い間合い（不敗の間、気を作る、敵情視察）②一足一刀の間合い（生死の間）、③近い間合いの3つで、自分の技量と体格により一人ひとり違う。間は時間、空間、拍子を含む打突の間合いで打突の適切な機会。間を詰めて攻めて構えを崩していく。崩れを待つのは積極性がない。

□攻めは三殺法による。①気攻め、充実した氣勢②構えによる攻め③技による攻め
一刀流の極意に「五格一諦」ということがある。五格とは有効打突を打つための5つの条件（①打とうとする心、②充実した氣勢、③気の充実したところで技を出す④機

会を捉える⑤理合を運ぶ) を一つにまとめることで、気剣体一致の打突を打つための三殺法の土台にしていかなければいけない。

□「打突」は

- ・気剣体の一致した有効打突1本を求めるもので、それ以外は無駄打ちである。むやみに打つのではなく機会を捉えて打つ。
- ・機会でなかったら打つな。機会がなかったら攻めて機会を作れ。
- ・気で勝ったら打突は単純動作であることを高段者として意識する。
- ・好機にはしっかり打ち切る。打ち切ることが防御になる。
- ・打ったら「刀中蔵」で自分の体を刀身の中に納める。左手はみぞおち、右手は肩の高さの面打ちの正しい姿勢を持ち運べば良い。

□ 残心は体の寄せと気のまとまりで示す。相手より高い気構えと身構え。

□ 剣道は呼吸の乱し合い。打ちを出させない工夫をする。打とうとする所を抑えると相手は息が吐きだせないから吸えなくなり呼吸が乱れる。打ちを受け止めるより打ちを出させない方が技術のレベルは格段に高い。

実習では、間を詰めた時の相手の反応に対処して技を出すことを研修しました。短い時間の中で凝縮した内容の素晴らしいご講義に、会員も真剣に取り組みました。

講習の後は遠藤先生、佐藤孝康先生に元に立っていただいたの指導稽古と相互の自由稽古は予定時間を延長してたっぷり行いました。

最後に関東地区クラブの三山升次先生から全国の会員に寄贈された健康器具「パインポップル」を頂戴いたしました。これは手のひらに乗せて軽く握っているだけで血行が良くなるなどの効果があるそうです。会員皆様の分がありますので是非例会に参加してお受け取りくださるようお願いいたします。

遠藤会長、曾根先生、佐藤先生はじめ、お手配くださいました三條先生、ご参加いただきました会員の皆様に改めて感謝申し上げます。



(1) 参加者 (敬称略・順不同)

宿 泊；遠藤勝雄、曾根孝悦、小林房雄、遠藤近志、古川昭夫、西口 晃
五十嵐諒、三浦隆昭、三條貞夫、齋藤勝廣、種村信行、柴崎 裕
矢作和雄、佐藤幸一郎、平子雅通、江俣和代、地主貴志子、菅野由里子
渡邊一仁

稽 古；佐藤孝康、中原正史、工藤一男

3 東北地区クラブ例会へのご要望をお寄せください！

遠藤会長からもご指摘やご提案を賜りましたが、地区例会の内容について広く会員の皆様方の要望やご提案をお寄せいただいて、より魅力を増したクラブに発展させていくこととなりました。例会の時に取り入れて欲しい内容やご要望、お考えがありましたら是非、どんなことでも結構ですので遠藤事務局長にお声をお寄せください。みんなで心を寄せて盛り上げていきましょう。

* 前回の「出鼻技」、今回の「攻めと間合い」についての講習は会員の方からのご要望に遠藤先生がお応えくださったものです。

4 福島県郡山市例会のご案内

新年度が3月1日から始まり、第1回目の地区例会を下記のとおり開催することになりました。早春の明るい光に活力がみなぎり始める頃です。春の審査、京都大会も間近に迫ってきます。どうぞ冬の間に培ってきた稽古の成果をさらに向上させる研鑽の機会となさってください。

今回は平成30年度の定例総会も開催いたします。日頃お気づきの点、様々なご意見などを是非お聞かせいただいて、より円滑で意義ある運営を展開したいと思っていますので、万障繰り合わせの上ご参加願います。

同封のハガキにより3月8日(木)必着で申し込み願います。欠席の場合、委任状と継続の確認にもなっておりますので必ず返信してください。どうぞよろしく願いいたします。

| | | | | |
|---------|----------|--------|-----|---------|
| (1) 日 時 | 3月24日(土) | 15時 | 開始 | 審査研修・稽古 |
| | | 18時45分 | 総会 | |
| | | 19時 | 懇親会 | |
| | 25日(日) | 9時半 | 開始 | |
| | | 11時 | 終了 | |

(2) 会 場 郡山市熱海公民館
〒963-1309 郡山市熱海町1丁目1
TEL 024(984)2679

(3) 宿 泊 熱海温泉 ホテル華の湯
〒963-1309 郡山市熱海町熱海5-8-60
TEL 024(984)2222

(4) 宿泊費 13,000円

5 平成30度の主な行事予定

・地区例会

来年度の予定に関しては次号でお知らせいたします。

・平成30年度海外交流事業について

- ① 台湾高雄国際親善剣道大会 3月17日(土)～18日(日)
- ② ラトビア・リトアニア剣道親善交流

6月1日(金) 出発、6月9日(土) 湯村カップ・リガカップ(団体戦)

6月11日(月) 午前中帰国

③ 韓国社会人剣道大会 7月

④ チェコ・オーストリア剣道親善交流

10月13日(土) 出発、10月25日(木) 午前中帰国予定

・平成30年度全国例会及び国際交流剣道大会

11月23日(金)～25日(日)、関東地区主幹・東京都品川区会場、

・平成30年度理事会・通常総会及び懇親会

5月3日(水) 16:00～、京都市 京都ホテルオークラ

6 新会員加入促進のお願い

今年度も皆様方のご理解とご協力の下、福島、宮城から新会員が入会されました。来年度も引き続き加入促進にご協力をいただき、さらに活発な事業展開をしてまいりたいと考えております。全国例会や海外交流事業と積極的に参加し、グローバルに交剣知愛を深めましょう。

7 国際社会人剣道クラブのホームページ <http://www.npo-igkc.or.jp>

ホームページを活用してください。各地区クラブの会報が掲載されています。

8 IGKC名札及びIGKCオリジナル ウィンドブレイカーの作成

IGKCの名札とウィンドブレイカーを希望される方は事務局長まで連絡してください。名札は3,900円、ウィンドブレイカーは3,500円となります。多少時間を要しますのでご承知おき願います。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくりください。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

関東地区クラブ 幹事長 豊田末雄氏 toyodasueo@gmail.com

東海地区クラブ 幹事長 井上一久氏 k-ino22@hm5.aitai.ne.jp

近畿地区クラブ 幹事長 岡本洋子氏 okmt0082@biscuit.ocn.ne.jp

中国四国クラブ 幹事長 金尾静一氏 kanao-0522@amethyst.broba.cc

九州地区クラブ 幹事長 佐藤博喜氏 nakamichi3303@outlook.jp

編集後記

立春を過ぎても東北はまだ厳しい寒さで大雪による被害や生活の支障も出ているようです。自然からの恵みでもある雪が甚大な雪害をもたらしませんように願うばかりです。それでも光は日一日と明るくなり木々のつぼみもいつの間にか膨らんでいることに驚かされます。

例会でご指導頂いた事を日々の稽古に活かして練習し工夫することを繰り返すことによって、剣道がいつの間にか少しずつ向上し、ご指導の内容に対する理解も深まっていくなかかもしれないという希望を春の近づきに重ねているこの頃です。そしてこのように有り難いご指導を頂けることを心より感謝しております。

皆様も是非例会にご参加されて剣道を高められます事をお願い申し上げます。

(江俣和代)

